

コードワード登録手順

1 ライセンスツールのインストール

コードワードを登録する前に、ライセンスツールのインストールが必要です。

ただし、既に別製品で同ツールをインストール済みの場合には、新たにインストールする必要はありません。

Linux の場合

- 1) マシン OS を立ち上げ、システムに root でログインします。
- 2) Program Product の入った CD-ROM をドライブに挿入します。
- 3) CD-ROM を mount します。

```
# mount /dev/cdrom /mnt
```

(上記事例は、マウント先に /mnt を指定、任意に選択してください)
- 4) 環境に合わせて RPM を選択してインストールを行います。

```
# cd /mnt/Linux/licensetool
```

64bit マシンの場合

```
#rpm -ivh ./clusterpro-mc-lctools-1.0.1-1.x86_64.rpm
```

32bit マシンの場合

```
#rpm -ivh ./clusterpro-mc-lctools-1.0.1-1.i386.rpm
```

2 コードワード登録

製品のライセンスロック解除を行うためには、その製品を使用するマシンにコードワードの登録を行います。

コードワード申請後、受け取ったコードワードを用いて、以下の手順でコードワードの登録を行ってください。

まず、システム管理者(root)でログインした後、vi エディタ等を使ってパス名を指定して、/etc/n2l2_lockinfo ファイルの最後にコードワードを追加します。もし、ファイルが存在しない場合は、vi エディタ等を使って/etc/n2l2_lockinfo ファイルを作成し、コードワードを追加します。

```
# vi /etc/n2l2_lockinfo
```

このファイルの最終行（必ずファイルの最終行に追加してください。コードワードは、通常、ファイルの下方にあるものが優先されます）に以下の例にしたがって書き込みを行ってください。

1 行目はコメントです。コードワードがどの製品のものかわかりやすいように、製品名と使用開始日を入力しておいてください。2 行目以降には、有償ロックキーと入手したコードワードを入力してください。有償ロックキーとコードワードは、スペースで区切ってください。また、文字数が多くなりますが、必ず 1 行に入力してください(途中での改行は不可)。

以下の製品を例に説明します。

```
製品名          : ProductABC
有償ロックキー  : UL1234-001
```

ライセンスの CPU 数とマシンの CPU 数が同じ場合(1CPU ライセンス、1CPU のマシン)

```
# Product name = ProductABC  Start date = 2012/10/01
UL1234-001  Cllgfbe8VJdkvg4%QUFerb3MtntyVFjXQIFTI32XYsnYQK%NPwT#lGfXkY%lhXJU6g
```

CPU 増設などでライセンスを追加入手した場合

```
# Product name = ProductABC  Start date = 2007/10/01
UL1234-001  Cllgfbe8VJdkvg4%QUFerb3MtntyVFjXQIFTI32XYsnYQK%NPwT#lGfXkY%lhXJU6g
UL1234-001  6lT6H%ZjeqFBfUEg%DkMcpKglKq%v5vsqMs#UepPp3lAFYtV%qOMTgxFQcNKNvHujN
※複数行に分けてマシンのソケット数分のコードワードを入力してください。
```

コードワードの入力が終わったら、入力ミスがないか良く確認してください。初めて n2l2_lockinfo ファイルを作成した場合はファイルのモードなどを以下のように修正してください。

```
# chown root /etc/n2l2_lockinfo
```

```
# chgrp sys /etc/n2l2_lockinfo
```

```
# chmod 644 /etc/n2l2_lockinfo
```

以上で、ライセンスロック解除の手続きは終了です。

■ 注意事項

n2l2_lockinfo ファイルには、複数の製品のコードワードが登録できます。

マルチ CPU 環境で 1CPU 用のコードワードをご利用になる場合は、複数の行に分けて有償ロックキーとコードワードを入力してください。(コアライセンスの場合も同様です。)

以上